

【件名】	古川地下調節池換気設備工事（その2）	【事務所名】	第一建設事務所	
【工事場所】	東京都港区三田一丁目地内ほか1か所	【受注者名】	荏原実業株式会社	
【工期】	平成28年2月23日～平成29年12月28日	【主たる技術者名】	現場代理人 稲葉 芳文 監理技術者 長澤 寿人	

【工事概要】

古川地下調節池の維持管理に必要な換気設備設置工事
換気設備工事 一式
自動可変翼軸流送風機 3台
ダクト管 φ2200、1500、1100

【表彰理由】（※発注者側評価）

当該工事箇所は、建物内で既設設備があり狭小な空間で、さらには競合工事が錯綜する現場状況であった。受注者は、他工事との調整役として協力体制を構築し、積極的にリーダーシップをとって綿密な工程管理や施工管理を調整するなど円滑な工事の進捗に取り組んだ。また、事業の特殊性もあり頻繁にあった現場見学者対応や、地元への定期的な広報活動も積極的に実施し近隣から感謝されるなど、熱意を持って取り組んだことについて高く評価される。



施工前



施工後

【受注者の声】

- ◇ 苦労した点
建築工事、電気工事との競合作業の中で、円滑に作業が行えるよう、作業間調整に努めるとともに、工期変更に対応し、無事故でしゅん功したこと。
- ◇ 特に工夫した点
地下調節池内の狭く制約のある空間のなかで、仮設搬入設備、揚重設備を工夫し、重量物の据付を実施したこと。地下40mでのダクト管据付作業には細心の注意を払いました。
- ◇ 現場で得られたやりがいや達成感
古川の治水から街を守るという使命のもと、大変なこともありましたが、東京のインフラ設備に寄与できたという達成感は何事にも代えがたいものがありました。
- ◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと
建設業は業務は厳しく、危険で、休日の少ないという負のイメージはありますが、やりがいのある仕事です。現場は変わりつつあります。仕事はしっかりと、休みはしっかり休む。そのような現場を目指していきたいです。



φ2200 SUS製ダクト管据付状況